

資料4 宇都宮大学大学院「学際創生科学研究科(仮称)  
設置に関するアンケート調査[企業・団体対象調  
書]結果報告書

---

---

**宇都宮大学大学院  
「学際創生科学研究科」(仮称)  
設置に関するアンケート調査  
【企業・団体対象調査】  
結果報告書**

---

---

**平成30年1月  
株式会社 進研アド**

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 企業・団体対象 調査概要

## 1. 調査目的

2019年4月に開設予定の宇都宮大学大学院「学際創生科学研究科」の新設構想に関して、企業・団体の人材ニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		企業・団体対象調査
調査対象		企業・団体の人事関連業務担当者
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	1,100件
	回収数(回収率)	314社(28.5%)
調査時期		2017年10月30日(月)～2017年11月24日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

企業・団体対象調査
・業種
・正規社員の平均採用数
・活躍を期待する学問系統
・「学際創生科学研究科」の基本構想、教育課程等に対する魅力度
・「学際創生科学研究科」の特色に対する魅力度
・「学際創生科学研究科」の社会的必要性
・「学際創生科学研究科」修了生に対する採用意向
・「学際創生科学研究科」修了生の毎年の採用想定人数
・「学際創生科学研究科」への社会人学生の入学(派遣)意向
・「学際創生科学研究科」生のインターンシップ受け入れ意向

## 企業・団体対象 調査結果まとめ



# 企業・団体対象 調査結果まとめ

## 回答企業・団体(回答者)の属性

※ 本調査は、宇都宮大学大学院が新たに設置予定の「学際創生科学研究科」に対する人材需要を確認する目的の調査として設計した。そのため、宇都宮大学大学院の修了生が就職している、もしくは就職先として想定される企業・団体の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、314件から回答を得た。

- 回答企業・団体の業種としては、「製造業」が最も多く28.7%。次いで、「情報通信業」(13.7%)、「サービス業」(12.7%)と続く。

## 「学際創生科学研究科」 修了生採用意向／毎年の採用想定人数

- 「学際創生科学研究科 地域創生科学専攻」修了生を「採用したいと思う」と答えた企業・団体は57.3% (180件)と、予定している入学定員(87人)の2倍以上である。
- 「学際創生科学研究科 工農創生科学専攻」修了生を「採用したいと思う」と答えた企業・団体は66.2% (208件)である。
- 修了生を「採用したいと思う」と答えた企業・団体(「学際創生科学研究科 地域創生科学専攻」180件、「学際創生科学研究科 工農創生科学専攻」208件)に対し、修了生の採用を毎年何名程度想定しているか聴取したところ、毎年の採用想定人数の合計は、「学際創生科学研究科 地域創生科学専攻」220名程度、「学際創生科学研究科 工農創生科学専攻」263名程度であった。いずれも予定している入学定員を上回る採用想定人数であり、安定した人材需要があることがうかがえる。

# 企業・団体対象 調査結果まとめ

## 「地域創生科学専攻」

### 修了生採用意向 属性別傾向

#### ◇業種別

- 「卸売・小売業」からの採用意向は69.4% (25件) である。

#### ◇活躍を期待する学問系統別

- 活躍を期待する学問系統別に採用意向を見ると、「地域創生科学専攻」と関連のある「社会学系統」を学んだ修了生を採用したいと考える企業・団体からの採用意向は78.6% (33件)、「国際関係学系統」を学んだ修了生を採用したいと考える企業・団体からの採用意向は71.1% (27件)、「工学系統」を学んだ修了生を採用したいと考える企業・団体からの採用意向は56.8% (83件)、「農・水産学系統」を学んだ修了生を採用したいと考える企業・団体からの採用意向は60.7% (34件)、である。

## 「工農創生科学専攻」

### 修了生採用意向 属性別傾向

#### ◇業種別

- 「製造業」からの採用意向は77.8% (70件)、「情報通信業」からの採用意向は76.7% (33件) である。

#### ◇活躍を期待する学問系統別

- 活躍を期待する学問系統別に採用意向を見ると、「工農創生科学専攻」と関連のある「工学系統」を学んだ修了生を採用したいと考える企業・団体からの採用意向は78.1% (114件)、「農・水産学系統」を学んだ修了生を採用したいと考える企業・団体からの採用意向は78.6% (44件) である。

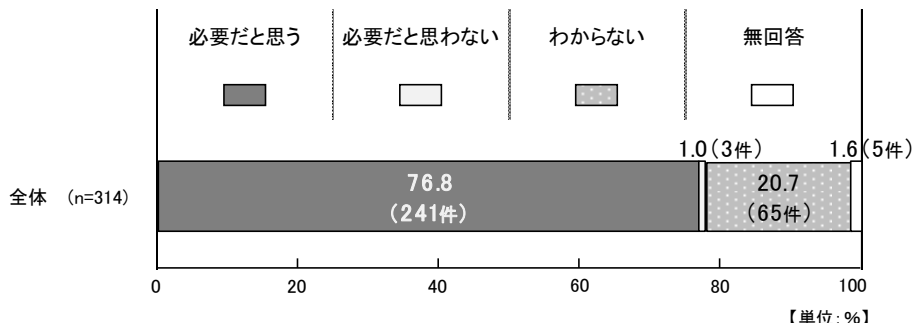
## 企業・団体対象 調査結果



# 「学際創生科学研究科 地域創生科学専攻」の社会的必要性／ 修了生採用意向／修了生の毎年の採用想定人数

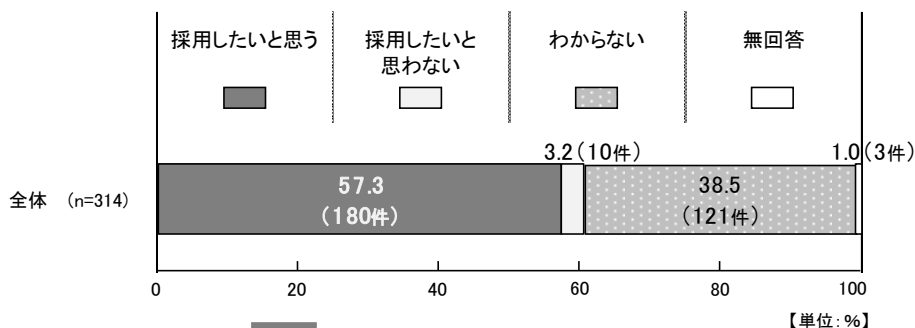
## ■「学際創生科学研究科 地域創生科学専攻」の社会的必要性

Q6. 貴社・貴団体は、学際創生科学研究科はこれからの社会にとって必要だと思いますか。  
お気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ該当するもの1つに☑)



## ■「学際創生科学研究科 地域創生科学専攻」修了生に対する採用意向

Q7. 貴社・貴団体では、学際創生科学研究科を修了した学生について、採用したいと思えますか。  
お気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ該当するもの1つに☑)



「学際創生科学研究科 地域創生科学専攻」修了生を  
「採用したいと思う」と答えた180件のみ抽出

## ■「学際創生科学研究科 地域創生科学専攻」修了生の毎年の採用想定人数

Q8. Q7でいずれかの専攻の修了生を「採用したいと思う」と回答された方におたずねします。  
採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをご回答ください。(それぞれ該当するもの1つに☑)

調査数	単位	採用想定人数					無回答	⇒	毎年の採用想定人数・計
		1名	2名	3名以上	人数は未確定	無回答			
全体	%	23.3	6.1	8.3	61.7	0.6	⇒	220	
	件	42	11	15	111	1			

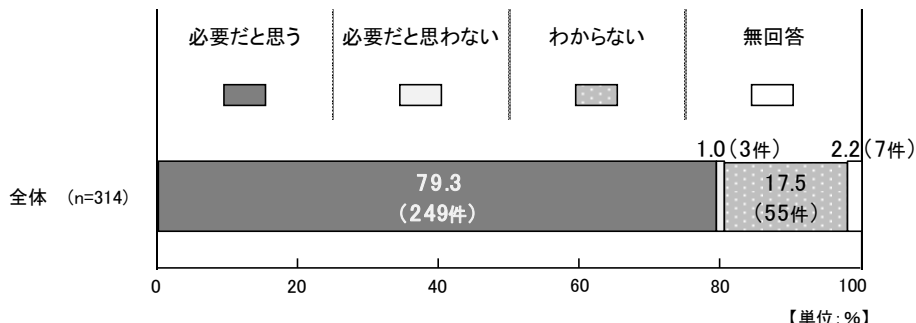
※ 毎年の採用想定人数・計 「3名以上」=3名、「人数は未確定」=1名を代入し合計値を算出



# 「学際創生科学研究科 工農創生科学専攻」の社会的必要性／ 修了生採用意向／修了生の毎年の採用想定人数

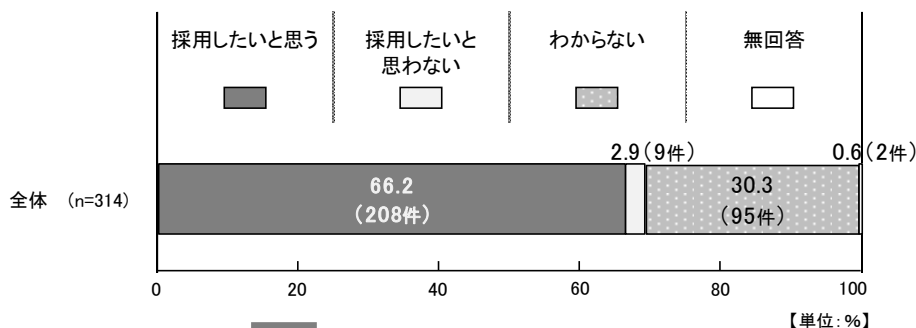
## ■「学際創生科学研究科 工農創生科学専攻」の社会的必要性

Q6. 貴社・貴団体は、学際創生科学研究科はこれからの社会にとって必要だと思いますか。  
お気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ該当するもの1つに☑)



## ■「学際創生科学研究科 工農創生科学専攻」修了生に対する採用意向

Q7. 貴社・貴団体では、学際創生科学研究科を修了した学生について、採用したいと思われますか。  
お気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ該当するもの1つに☑)



「学際創生科学研究科 工農創生科学専攻」修了生を  
「採用したいと思う」と答えた208件のみ抽出

## ■「学際創生科学研究科 工農創生科学専攻」修了生の毎年の採用想定人数

Q8. Q7でいずれかの専攻の修了生を「採用したいと思う」と回答された方におたずねします。  
採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをご回答ください。(それぞれ該当するもの1つに☑)

調査数	単位	1名	2名	3名以上	人数は未確定	無回答	⇒	毎年の計採用想定人数(名)
		%	%	%				
全体	208	20.7	10.1	8.7	59.6	1.0	⇒	263
	件	43	21	18	124	2		

※ 毎年の採用想定人数・計 「3名以上」=3名、「人数は未確定」=1名を代入し合計値を算出

## 卷末資料 調查票



# 企業・団体対象 調査票

17013

No.

## 『宇都宮大学大学院』に関するアンケート

宇都宮大学では2019年(平成31年)4月、宇都宮大学大学院「学際創生科学研究科」(仮称)の設置を計画しています。このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や研究科・専攻にするための参考資料とさせていただきますので、得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ご多忙の折、大変恐縮ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。  
**※このアンケートや同封した資料に記載されている「学際創生科学研究科」並びに専攻・コースに関する事項はすべて予定であり、内容が変更になる可能性があります。**

記入の方法

1. 回答は、あてはまる項目の□に✓をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので、汚さないようご注意ください。
3. 記入には、必ず鉛筆またはシャープペンシルで濃く書いてください。
4. 質問により、1つだけ答えるものと、複数答えるものがあります。
5. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。

【記入例】

Q. どのような系統の学問を学んだ人物を採用したいですか。(いくつでも)

文学     法学     社会学     医学     法学     社会学  
 語学     国際関係     語学     国際関係

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(該当するもの1つに✓)

- |  |                                  |                                   |
|--|----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 農・林・漁・鉱業      | <input type="checkbox"/> 運輸業     | <input type="checkbox"/> 医療・福祉    |
| <input type="checkbox"/> 建設業           | <input type="checkbox"/> 卸売・小売業  | <input type="checkbox"/> 複合サービス事業 |
| <input type="checkbox"/> 製造業           | <input type="checkbox"/> 金融・保険業  | <input type="checkbox"/> サービス業    |
| <input type="checkbox"/> 電気・ガス・熱供給・水道業 | <input type="checkbox"/> 不動産業    | <input type="checkbox"/> 公務       |
| <input type="checkbox"/> 情報通信業         | <input type="checkbox"/> 飲食店・宿泊業 | <input type="checkbox"/> その他      |

Q2. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員・職員の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均      名程度 ※アラビア数字(1,2,3,...)で右詰めでご記入ください。

Q3. 貴社・貴団体では、どのような系統の学問を学んだ人物に活躍を期待していますか。(該当するものすべてに✓)

- |                                  |                                     |                                       |
|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 社会学系統   | <input type="checkbox"/> 文学系統       | <input type="checkbox"/> 芸術学系統        |
| <input type="checkbox"/> 国際関係学系統 | <input type="checkbox"/> 語学系統       | <input type="checkbox"/> 総合科学系統       |
| <input type="checkbox"/> 工学系統    | <input type="checkbox"/> 法学系統       | <input type="checkbox"/> その他          |
| <input type="checkbox"/> 農・水産学系統 | <input type="checkbox"/> 経済・経営・商学系統 | <input type="checkbox"/> 学問系統にはこだわらない |
| <input type="checkbox"/> 理学系統    | <input type="checkbox"/> 生活科学系統     |                                       |

※ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください※

Q4. 【新大学院の基本構想、教育課程等について】学際創生科学研究科は、地域デザイン科学部、国際学部、教育学部、工学部、農学部の5学部の専門教育を基盤として、修士課程ではそれぞれの専門性(学位)を担保しながら、学際性・俯瞰力・複眼力などを身につけて新しい課題にも柔軟に対応できる学生を養成します。貴社・貴団体にとって、以下の特色はどの程度魅力に感じますか。(それぞれ該当するもの1つに✓)

例.	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
○○を養成します。	→ <input type="checkbox"/>	→ <input checked="" type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>
A. 既存の研究科の一つに大括り化します。	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>
B. 文理融合・分野融合によって新領域の創生にチャレンジします。	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>
C. 高度な「科学リテラシー」として、学際的思考の基盤(生命科学、感性科学)、倫理観、実践的なコミュニケーション能力を養成します。	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>
D. 地域と国際の観点からグローバルな素養を養成します。	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>
E. 文系の学生も、データサイエンスや統計処理など理系の素養を養成します。	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>
F. 理系の学生も、経営マネジメントや福祉問題など文系の素養を養成します。	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>

# 企業・団体対象 調査票

17014

- Q5. 【育成する人材像について】学際創生科学研究科には、以下の特色があります。貴社・貴団体にとって、これらの特色はどの程度魅力に感じますか。(それぞれ該当するもの1つに☑)

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
	例. ○○する人材を育成します。	→ <input type="checkbox"/>	→ <input checked="" type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>
学際創生科学研究科	A. 高度な専門知識・技術とともに、学際的な幅広い思考力と実践力を備えて、革新的な制度・システム・イノベーション等の創生に関して、主体的に行動できる人材を育成します。	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>
	地域創生科学専攻 B. 地域社会デザインや地域デザイン工学及び国際社会、多文化共生、人間発達に関する高度な専門知識・技術を身につけて、地域・国・世界の発展・創生に貢献する人材を育成します。	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>
	工農創生科学専攻 C. ものづくりや食・農業に関する工学系や農学系の高度な専門知識・技術を身につけて、地域や産業の発展・創生に貢献する人材を育成します。	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>

- Q6. 貴社・貴団体は、学際創生科学研究科はこれからの社会にとって必要だと思えますか。お気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ該当するもの1つに☑)

【地域創生科学専攻】  必要だと思う  必要だと思わない  わからない  
 【工農創生科学専攻】  必要だと思う  必要だと思わない  わからない

- Q7. 貴社・貴団体では、学際創生科学研究科を修了した学生について、採用したいと思えますか。お気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ該当するもの1つに☑)

【地域創生科学専攻】  採用したいと思う  採用したいと思わない  わからない  
 【工農創生科学専攻】  採用したいと思う  採用したいと思わない  わからない

- Q8. Q7でいずれかの専攻の修了生を「採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考慮する場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをご回答ください。(それぞれ該当するもの1つに☑)※尚、この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

		1名	2名	3名以上	人数は未確定
学際創生科学研究科	地域創生科学専攻	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>
	工農創生科学専攻	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>	→ <input type="checkbox"/>

- Q9. 学際創生科学研究科では、社会人学生を積極的に受け入れる予定です。貴社・貴団体の社員等を学際創生科学研究科に入学(派遣)させたいと思えますか。(該当するもの1つに☑)

積極的に社会人入学させたい  社会人入学させる可能性はある  
 社会人入学させる可能性はない  わからない

- Q10. 学際創生科学研究科では、実践的な応用力・コミュニケーション能力など専門技術者としての実践力を養成する目的として、企業・自治体等へのインターンシップ派遣を検討しております。貴社・貴団体における本研科学学生のインターンシップ受け入れについてお伺いします。(※この回答をもって、学生の受け入れを依頼するものではありません。)(該当するもの1つに☑)

ぜひ受け入れたい  可能な範囲で受け入れたい  受け入れは困難である

\*\*\*質問は以上です。ご協力ありがとうございました。\*\*\*

資料5 宇都宮大学大学院「学際創生科学研究科(仮称)  
設置に関するアンケート調査[企業・団体対象調  
書]結果全体集計表

Q1.業種(単一回答)

業種	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%																
調査数	314	100.0	4	1.3	32	10.2	90	28.7	5	1.6	43	13.7	8	2.5	36	11.5	10	3.2	3	1.0	4	1.3	0	0.0	6	1.9	40	12.7	12	3.8	16	5.1	5	1.6
			農・林・漁・鉱業		建設業		製造業		水道業・ガス・熱供給		情報通信業		運輸業		卸売・小売業		金融・保険業		不動産業		飲食店・宿泊業		医療・福祉		複合サービス事業		サービス業		公務		その他		無回答	

Q2.正社員数の平均採用人数(自由回答)

調査数	採用人数	件数	%	平均採用人数	合計(名)																							
0名	1	5	1.6	1	5																							
1名	5	1	0.3	0	5																							
2名	1	3	1.0	0	3																							
3名	0	3	1.0	0	3																							
4名	0	5	1.6	0	5																							
5名	0	1	0.3	0	1																							
6名	0	0	0.0	0	0																							
7名	0	0	0.0	0	0																							
8名	0	0	0.0	0	0																							
9名	0	0	0.0	0	0																							
10名	0	0	0.0	0	0																							
11名	0	0	0.0	0	0																							
12名	0	0	0.0	0	0																							
13名	0	0	0.0	0	0																							
14名	0	0	0.0	0	0																							
15名	0	0	0.0	0	0																							
16名	0	0	0.0	0	0																							
17名	0	0	0.0	0	0																							
18名	0	0	0.0	0	0																							
19名	0	0	0.0	0	0																							
20名	0	0	0.0	0	0																							
21名	0	0	0.0	0	0																							
22名	0	0	0.0	0	0																							
23名	0	0	0.0	0	0																							
24名	0	0	0.0	0	0																							
25名	0	0	0.0	0	0																							
26名	0	0	0.0	0	0																							
27名	0	0	0.0	0	0																							
28名	0	0	0.0	0	0																							
29名	0	0	0.0	0	0																							
30名	0	0	0.0	0	0																							
31名	0	0	0.0	0	0																							
32名	0	0	0.0	0	0																							
33名	0	0	0.0	0	0																							
34名	0	0	0.0	0	0																							
35名	0	0	0.0	0	0																							
36名	0	0	0.0	0	0																							
37名	0	0	0.0	0	0																							
38名	0	0	0.0	0	0																							
39名	0	0	0.0	0	0																							
40名	0	0	0.0	0	0																							
41名	0	0	0.0	0	0																							
42名	0	0	0.0	0	0																							
43名	0	0	0.0	0	0																							
44名	0	0	0.0	0	0																							
45名	0	0	0.0	0	0																							
46名	0	0	0.0	0	0																							
47名	0	0	0.0	0	0																							
48名	0	0	0.0	0	0																							
49名	0	0	0.0	0	0																							
50名	0	0	0.0	0	0																							
51名	0	0	0.0	0	0																							
52名	0	0	0.0	0	0																							
53名	0	0	0.0	0	0																							
54名	0	0	0.0	0	0																							
55名	0	0	0.0	0	0																							
56名	0	0	0.0	0	0																							
57名	0	0	0.0	0	0																							
58名	0	0	0.0	0	0																							
59名	0	0	0.0	0	0																							
60名	0	0	0.0	0	0																							
61名	0	0	0.0	0	0																							
62名	0	0	0.0	0	0																							
63名	0	0	0.0	0	0																							
64名	0	0	0.0	0	0																							
65名	0	0	0.0	0	0																							
66名	0	0	0.0	0	0																							
67名	0	0	0.0	0	0																							
68名	0	0	0.0	0	0																							
69名	0	0	0.0	0	0																							
70名	0	0	0.0	0	0																							
71名	0	0	0.0	0	0																							
72名	0	0	0.0	0	0																							
73名	0	0	0.0	0	0																							
74名	0	0	0.0	0	0																							
75名	0	0	0.0	0	0																							
76名	0	0	0.0	0	0																							
77名	0	0	0.0	0	0																							
78名	0	0	0.0	0	0																							
79名	0	0	0.0	0	0																							
80名	0	0	0.0	0	0																							
81名	0	0	0.0	0	0																							
82名	0	0	0.0	0	0																							
83名	0	0	0.0	0	0																							
84名	0	0	0.0	0	0																							
85名	0	0	0.0	0	0																							
86名	0	0	0.0	0	0																							
87名	0	0	0.0	0	0																							
88名	0	0	0.0	0	0																							
89名	0	0	0.0	0	0																							
90名	0	0	0.0	0	0																							
91名	0	0	0.0	0	0																							
92名	0	0	0.0	0	0																							
93名	0	0	0.0	0	0																							
94名	0	0	0.0	0	0																							
95名	0	0	0.0	0	0																							
96名	0	0	0.0	0	0																							
97名	0	0	0.0	0	0																							
98名	0	0	0.0	0	0																							
99名	0	0	0.0	0	0																							
100名	0	0	0.0	0	0																							
合計	314	100.0	64	20.4	40	12.7	57	18.2	31	9.9	30	9.6	37	11.8	48	15.3	4	1.3	85	27.1	4	1.3	26	8.3	16	5.1	5	1.6

Q3.活躍を期待する学問系統(複数回答)

調査数	件数	%	学問系統	件数	%	学問系統	件数	%	学問系統	件数	%	学問系統	件数	%	学問系統	件数	%	学問系統	件数	%	学問系統	件数	%	学問系統	件数	%	学問系統	件数	%	学問系統	件数	%	学問系統	件数	%	学問系統	件数	%			
調査数	314	100.0	社会科学系統	42	13.4	国際関係学系統	38	12.1	工学系統	146	46.5	農・水産学系統	56	17.8	理学系統	91	29.0	文学系統	29	9.2	経済・経営・商学系統	85	27.1	生活科学系統	17	5.4	芸術学系統	13	4.1	総合科学系統	29	9.2	その他	11	3.5	学問系統にはこだわらない	153	48.7	無回答	0	0.0

Q4A.【基本構想・教育課程等】特色Aの魅力度(単一回答)

既存の研究科を一つに大括弧化します。

調査数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	いあまり魅力を感じない	なまったく魅力を感じない	無回答
314	198	24	174	109	102	7	7
100.0	63.1	7.6	55.4	34.7	32.5	2.2	2.2

Q4D.【基本構想・教育課程等】特色Dの魅力度(単一回答)

地域と国際の観点からグローバルな素養を養成します。

調査数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	いあまり魅力を感じない	なまったく魅力を感じない	無回答
314	270	86	184	38	36	2	6
100.0	86.0	27.4	58.6	12.1	11.5	0.6	1.9

Q5A.【育成する人材像】特色Aの魅力度(単一回答)

(学際創生科学研究科)高度な専門知識・技術とともに、学際的な幅広い思考力と実践力を備えて、革新的な制度・システム・イノベーション等の創生に関して、主体的に行動できる人材を育成します。

調査数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	いあまり魅力を感じない	なまったく魅力を感じない	無回答
314	290	137	153	16	15	1	8
100.0	92.4	43.6	48.7	5.1	4.8	0.3	2.5

Q4B.【基本構想・教育課程等】特色Bの魅力度(単一回答)

文理融合・分野融合によって新領域の創生にチャレンジします。

調査数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	いあまり魅力を感じない	なまったく魅力を感じない	無回答
314	258	79	179	52	47	5	4
100.0	82.2	25.2	57.0	16.6	15.0	1.6	1.3

Q4E.【基本構想・教育課程等】特色Eの魅力度(単一回答)

文系の学生も、データサイエンスや統計処理など理系の素養を養成します。

調査数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	いあまり魅力を感じない	なまったく魅力を感じない	無回答
314	287	132	155	23	19	4	4
100.0	91.4	42.0	49.4	7.3	6.1	1.3	1.3

Q5B.【育成する人材像】特色Bの魅力度(単一回答)

(地域創生科学専攻)地域社会やサイエンスや地域デザイン工学及び国際社会、多文化共生、人間発達に関する高度な専門知識・技術を身につけて、地域・国・世界の発展・創生に貢献する人材を育成します。

調査数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	いあまり魅力を感じない	なまったく魅力を感じない	無回答
314	263	80	183	45	44	1	6
100.0	83.8	25.5	58.3	14.3	14.0	0.3	1.9

Q4C.【基本構想・教育課程等】特色Cの魅力度(単一回答)

高度な「科学リテラシー」として、学際的思考の基盤(生命科学、感性科学、倫理観、実践的なコミュニケーション)能力を養成します。

調査数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	いあまり魅力を感じない	なまったく魅力を感じない	無回答
314	261	92	169	48	46	2	5
100.0	83.1	29.3	53.8	15.3	14.6	0.6	1.6

Q4F.【基本構想・教育課程等】特色Fの魅力度(単一回答)

理系の学生も、経営マネジメントや福祉問題など文系の素養を養成します。

調査数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	いあまり魅力を感じない	なまったく魅力を感じない	無回答
314	282	139	143	29	28	1	3
100.0	89.8	44.3	45.5	9.2	8.9	0.3	1.0

Q5C.【育成する人材像】特色Cの魅力度(単一回答)

(工農創生科学専攻)ものづくりや食・農業に関する工学系や農学系の高度な専門知識・技術を身につけて、地域や産業の発展・創生に貢献する人材を育成します。

調査数	魅力を感じる・計	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない・計	いあまり魅力を感じない	なまったく魅力を感じない	無回答
314	270	120	150	36	34	2	8
100.0	86.0	38.2	47.8	11.5	10.8	0.6	2.5

Q6. 地域創生科学専攻の社会的必要性 (単一回答)

調査数	必要だと思う	必要だと思う	わからない	無回答
314	241	3	65	5
100.0	76.8	1.0	20.7	1.6

Q6. 工農創生科学専攻の社会的必要性 (単一回答)

調査数	必要だと思う	必要だと思う	わからない	無回答
314	249	3	55	7
100.0	79.3	1.0	17.5	2.2

Q7. 地域創生科学専攻修了生に対する採用意向(単一回答)

調査数	採用したいと思う	採用したいと思わない	わからない	無回答
314	180	10	121	3
100.0	57.3	3.2	38.5	1.0

Q7. 工農創生科学専攻修了生に対する採用意向(単一回答)

調査数	採用したいと思う	採用したいと思わない	わからない	無回答
314	208	9	95	2
100.0	66.2	2.9	30.3	0.6

Q8. 地域創生科学専攻修了生の毎年の採用想定人数(単一回答)

調査数	1名	2名	3名以上	人数は未確定	無回答	平均(名)	合計(名)
180	42	11	15	111	1	1.23	220
100.0	23.3	6.1	8.3	61.7	0.6		

Q8. 工農創生科学専攻修了生の毎年の採用想定人数(単一回答)

調査数	1名	2名	3名以上	人数は未確定	無回答	平均(名)	合計(名)
208	43	21	18	124	2	1.28	263
100.0	20.7	10.1	8.7	59.6	1.0		

Q9. 社会人学生の入学(派遣)意向(単一回答)

調査数	社会人学生は入学させる可能性がある	社会人学生は入学させる可能性がある	社会人学生は入学させる可能性がある	わからない	無回答
314	38	5	33	94	182
100.0	12.1	1.6	10.5	29.9	58.0
				0	0.0

Q10. インターンシップ受け入れ意向(単一回答)

調査数	受け入れたい・計	ぜひ受け入れたい	受け入れたい範囲で受け入れたい	受け入れは困難である	無回答
314	227	42	185	85	2
100.0	72.3	13.4	58.9	27.1	0.6



## 資料6 調査票様式(企業版)

## 『宇都宮大学大学院』に関するアンケート

宇都宮大学では2019年(平成31年)4月、宇都宮大学大学院「学際創生科学研究科」(仮称)の設置を計画しています。  
 このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や研究科・専攻にするための参考資料とさせていただきます。  
 このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や研究科・専攻にするための参考資料とさせていただきます。  
 つきましては、ご多忙の折、大変恐縮ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。  
**※このアンケートや同封した資料に記載されている「学際創生科学研究科」並びに専攻・コースに関する事項はすべて予定であり、  
 内容が変更になる可能性があります。**

記入の方法

1. 回答は、あてはまる項目の□枠に✓をつけてください。  
 2. この用紙は、電算処理しますので、汚さないようにしてください。  
 3. 記入にあたっては、必ず鉛筆またはシャープペンシルで濃く書いてください。

4. 質問により、1つだけ答えるものと、複数答えるものがあります。  
 5. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。

【記入例】

Q. どのような系統の学問を学んだ人物を採用したいですか。(いくつでも)

<b>良い 記入例</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 文学	<input type="checkbox"/> 法学	<input type="checkbox"/> 社会学	<b>悪い 記入例</b>	<input type="checkbox"/> 文学	<input type="checkbox"/> 法学	<input type="checkbox"/> 社会学
	<input type="checkbox"/> 語学	<input checked="" type="checkbox"/> 国際関係			<input checked="" type="checkbox"/> 語学	<input type="checkbox"/> 国際関係	

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(該当するもの1つに✓)

- |  |                                  |                                   |
|--|----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 農・林・漁・鉱業      | <input type="checkbox"/> 運輸業     | <input type="checkbox"/> 医療・福祉    |
| <input type="checkbox"/> 建設業           | <input type="checkbox"/> 卸売・小売業  | <input type="checkbox"/> 複合サービス事業 |
| <input type="checkbox"/> 製造業           | <input type="checkbox"/> 金融・保険業  | <input type="checkbox"/> サービス業    |
| <input type="checkbox"/> 電気・ガス・熱供給・水道業 | <input type="checkbox"/> 不動産業    | <input type="checkbox"/> 公務       |
| <input type="checkbox"/> 情報通信業         | <input type="checkbox"/> 飲食店・宿泊業 | <input type="checkbox"/> その他      |

Q2. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員・職員の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均  名程度 ※アラビア数字(1,2,3...)で右詰めでご記入ください。

Q3. 貴社・貴団体では、どのような系統の学問を学んだ人物に活躍を期待していますか。(該当するものすべてに✓)

- |                                  |                                     |                                       |
|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 社会学系統   | <input type="checkbox"/> 文学系統       | <input type="checkbox"/> 芸術学系統        |
| <input type="checkbox"/> 国際関係学系統 | <input type="checkbox"/> 語学系統       | <input type="checkbox"/> 総合科学系統       |
| <input type="checkbox"/> 工学系統    | <input type="checkbox"/> 法学系統       | <input type="checkbox"/> その他          |
| <input type="checkbox"/> 農・水産学系統 | <input type="checkbox"/> 経済・経営・商学系統 | <input type="checkbox"/> 学問系統にはこだわらない |
| <input type="checkbox"/> 理学系統    | <input type="checkbox"/> 生活科学系統     |                                       |

※ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

Q4. 【新大学院の基本構想、教育課程等について】学際創生科学研究科は、地域デザイン科学部、国際学部、教育学部、工学部、農学部の5学部の専門教育を基盤として、修士課程ではそれぞれの専門性(学位)を担保しながら、学際性・俯瞰力・複眼力などを身につけて新しい課題にも柔軟に対応できる学生を養成します。貴社・貴団体にとって、以下の特色はどの程度魅力に感じますか。(それぞれ該当するもの1つに✓)

			とても 魅力を感じ	ある程度 魅力を感じ	あまり 魅力を感じない	まったく 魅力を感じない
例.	○○を養成します。	→	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A.	既存の研究科を一つに大括り化します。	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B.	文理融合・分野融合によって新領域の創生にチャレンジします。	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C.	高度な「科学リテラシー」として、学際的思考の基盤(生命科学、感性科学)、倫理観、実践的なコミュニケーション能力を養成します。	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D.	地域と国際の観点からグローバルな素養を養成します。	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E.	文系の学生も、データサイエンスや統計処理など理系の素養を養成します。	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F.	理系の学生も、経営マネジメントや福祉問題など文系の素養を養成します。	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- Q5. 【育成する人材像について】学際創生科学研究科には、以下の特色があります。  
貴社・貴団体にとって、これらの特色はどの程度魅力に感じますか。  
(それぞれ該当するもの1つに☑)

			とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	まったく 魅力を 感じない	
	例.	〇〇する人材を育成します。	→	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学際創生 科学研究科	A.	高度な専門知識・技術とともに、学際的な幅広い思考力と実践力を備えて、革新的な制度・システム・イノベーション等の創生に関して、主体的に行動できる人材を育成します。	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域創生 科学専攻	B. 地域社会デザインや地域デザイン工学及び国際社会、多文化共生、人間発達に関する高度な専門知識・技術を身につけて、地域・国・世界の発展・創生に貢献する人材を育成します。	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	工農創生 科学専攻	C. ものづくりや食・農業に関する工学系や農学系の高度な専門知識・技術を身につけて、地域や産業の発展・創生に貢献する人材を育成します。	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- Q6. 貴社・貴団体は、学際創生科学研究科はこれからの社会にとって必要だと思われませんか。  
お気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ該当するもの1つに☑)

【地域創生科学専攻】  必要だと思う  必要だと思わない  わからない  
 【工農創生科学専攻】  必要だと思う  必要だと思わない  わからない

- Q7. 貴社・貴団体では、学際創生科学研究科を修了した学生について、採用したいと思われませんか。  
お気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ該当するもの1つに☑)

【地域創生科学専攻】  採用したいと思う  採用したいと思わない  わからない  
 【工農創生科学専攻】  採用したいと思う  採用したいと思わない  わからない

- Q8. Q7でいずれかの専攻の修了生を「採用したいと思う」と回答された方におたずねします。  
採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをご回答ください。(それぞれ該当するもの1つに☑) ※尚、この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

			1名	2名	3名以上	人数は 未確定
学際創生科学研究科	地域創生科学専攻	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	工農創生科学専攻	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- Q9. 学際創生科学研究科では、社会人学生を積極的に受け入れる予定です。  
貴社・貴団体の社員等を学際創生科学研究科に入学(派遣)させたいと思いませんか。(該当するもの1つに☑)

積極的に社会人入学させたい  社会人入学させる可能性はある  
 社会人入学させる可能性はない  わからない

- Q10. 学際創生科学研究科では、実践的な応用力・コミュニケーション能力など専門技術者としての実践力を養成する目的として、企業・自治体等へのインターンシップ派遣を検討しております。貴社・貴団体における本研究科学生のインターンシップ受け入れについてお伺いします。(※この回答をもって、学生の受け入れを依頼するものではありません。)  
(該当するもの1つに☑)

ぜひ受け入れたい  可能な範囲で受け入れたい  受け入れは困難である

\*\*\*質問は以上です。ご協力ありがとうございました。\*\*\*